

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	人と防災		
担当者 (Instructors)	藤沢 真理子	配当年次 (Dividend year)	2
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
<p>首都直下地震や南海トラフ地震などのリスクが高まっている今、これまでの災害に対して人々がどのように対応してきたのか学ぶ。そして、今後どのような備えをすれば自分や大切な人の命を守ることが出来るのかを考える。</p>			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態 (Class form)	講義
授業の方法 (Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	ガイダンス、人と防災について	今後の講義の概要と授業でのルール、そして人と防災の内容について理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	火山災害	現在日本の活火山は111とされる。火山災害に対して、人々がどのように対応したのか学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	津波災害	日本では過去に何度も津波の被害を受けている。津波災害に対して、人々がどのように対応したのか理解する。	<input type="checkbox"/>
第4回	水害	日本で頻発している大雨・洪水などの水害に対して、人々がどのように対応したのか理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	土砂災害	日本における土砂災害に対して、人々がどのように対応したのか学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	台風災害	毎年のように、台風の被害が出ている。台風災害に対して、人々がどのように対応したのか学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	地震災害	日本では地震がどこで起こっても不思議ではない。地震災害に対して、人々がどのように対応したのか学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	阪神淡路大震災における支援活動	平成7（1995）年の阪神淡路大震災における支援活動について理解する。	<input type="checkbox"/>
第9回	阪神淡路大震災における災害ボランティア	平成7（1995）年の阪神淡路大震災はボランティア元年といわれるが、人々がどのようにボランティア活動に参加したのか学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	東日本大震災における支援活動	平成23（2011）年の東日本大震災における支援活動について理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	東日本大震災における災害ボランティア	平成23（2011）年の東日本大震災における災害ボランティアの活動について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	防災文化	災害を防止し軽減するために培われてきた知識や技術、伝承するための仕組みなどの防災文化を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	雪害	日本では毎年大雪の被害が報告されている。雪害に対して人々がどのように対応すればよいのか理解する。	<input type="checkbox"/>
第14回	気候変動	地球温暖化にともない、災害が激甚化している。地球温暖化に対して人々がどのように対応すればよいのか学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	防災の課題	災害に対して人々がどのように対応してきたのか学んできた。今後起こる災害に対して人々がどう備えればよいのか課題をまとめる。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)</b>	
<p>事前学習課題として、前回の講義内容について当日までに2時間程度の学習を行い、小テストに取り組む。事後学習として、講義の復習をす</p>	

るとともに課題レポートを2時間程度でまとめることを課す。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは、翌週フィードバックし、全員で共有する機会を持つ。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	人と防災の分野における問題意識を持ち解決方法を探求できる
主体性	◆ 2019人間健康DP3	人と防災について多様な価値観を有し、自発的に人々と協働して地域貢献ができる

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験は各回小テストを実施する。その他はまとめレポートを実施する。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義の中で、適宜テキストを紹介する	
2		
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜授業で紹介する	
2		
3		
4		
5		